

(私の)器量はぶくで役立たずであるにもかかわらず、天子より豊かな恵み(官位)をうけ、頑固でおろかな身でありながら、巨川を渡る船の舵(宰相として政治)をまかされた。

語釈

169 ○兢兢…おそれいまして慎むさま。

『爾雅』に「兢兢、戒也」、『国語』「楚語下」に「戰戰兢兢」の例が、また、『史記』「孝武紀」に「兢兢焉懼弗任」の用例が見える。

『漢語大詞典』には「①小心謹慎貌」の説明として『詩経』「小雅、小旻」の「戰戰兢兢、如臨深淵如履薄冰。毛傳、兢兢、戒也」の例を、また「②恐懼貌」として『詩経』「大雅、雲漢」の「兢兢業業、如霆如雷。毛傳、兢兢、恐也」の例を引く。

○鳳扆…きれいに飾ったついたて。または屏風。または帝座をいう。
『菅家後集』「478 不出門」には「一從謫落在柴荆、万死兢兢踟躑情」の句が見える。

『漢語大詞典』には「皇帝宮殿上絵有鳳凰図飾の屏風。置于戸牖之間。亦指帝座」と説明し、王維の「奉和聖制登降、聖觀應制」の「鳳扆朝碧落、龍凶耀金鏡。趙殿成箋注、「孔安国『尚書』傳、扆、屏風。畫為斧文、置戸牖之間、謂之鳳扆者、當是畫鳳于扆上也。」亦借指朝廷和皇帝」の用例を載せる。
『菅家文章』「8 九日侍宴、同賦鴻雁來賓、各探一字、得葦、應製」には「稚羽晚鴻賓、寒聲驚鳳扆」の句が見える。